



平成 20 年 9 月 1 日

各 位

本店所在地 大阪市中央区道修町 3 丁目 6 番 1 号
会社名 株式会社 アクセス
代表者の
役職氏名 代表取締役社長 松 浦 徹
(JASDAQ コード番号: 4700)
問い合わせ先 管理本部
取締役本部長 山 田 欣 吾
電話番号 (06) 6208 - 1600 (代表)

債権の取立遅延に関するお知らせ

当社は、平成 19 年 3 月期に旧本社ビル不動産の売却によって得た資金につき、将来の事業成長に備えた待機資金として有効活用するべく、具体的には、平成 19 年 3 月 16 日に「資産運用管理委員会」を新たに設置し、外部の専門家の意見を聞きながら、当面の設備資金、運転資金に用いる計画のない資金 120 億円について、リスクを限定した上で、3%程度の運用収益をあげることを目的に分散投資をすることを取締役会で決定し、その決定にしたがって、運用を行ってまいりました。

平成 19 年 8 月 31 日に、1 年後の平成 20 年 8 月 31 日を返済期限として、SPC である有限会社 HUM プロパティーズ(以下、「本件 SPC」といいます。)に対し、不動産開発事業の資金として、シニア・ローン(優先弁済権のある債権)形態で 80 億円の貸付を実行いたしました(以下、「本件貸付」といいます。)。なお、本件 SPC への本件貸付に関しましては、本件 SPC の財務内容、開発案件の合理性、事業主体の信用状況、ローン・スキーム上の安全性、担保となる不動産物件の評価価値などを十分かつ慎重に検討し、リスク管理を徹底した上で、運用を決定いたしました。

このたび、本件貸付に関しまして、昨今の不動産業界を取り巻く環境が今年の初め以降に急速に悪化し、特にマンションなど居住用住宅の開発案件数が大きく落ち込むなど、不動産業界が予想もしなかった厳しい環境に見舞われたこと等により、本件 SPC において当初計画されておりました、不動産開発事業が計画どおり進まず、本件 SPC の資金回収が進まなかったことから、約定返済期限が到来したもののその弁済がなされず、下記のとおり、本件 SPC に対する本件貸付債権について、支払遅延が生じたので、お知らせいたします。

なお、現時点において、本件貸付債権については、利息は予定通り支払われており、元本返済に関しましても、プロジェクトの見直し及び物件の売却などによって早期に返済されるよう交渉中でございます。また、本件貸付債権については、開発対象不動産の全てに当社が第 1 順位の担保権の設定を受けており、債権全額が保全されておりますので、当社の担保権者としての権利行使を行えば、債権の元本、利息などの回収には懸念はないことから、平成 20 年 5 月 23 日に公表いたしました、平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

記

1. 債務者（有限会社HUM プロパティーズ）の概要

- | | |
|-----------|--------------------------------|
| (1) 商号 | 有限会社HUM プロパティーズ |
| (2) 本店所在地 | 東京都新宿四谷一丁目4番地 |
| (3) 代表者 | 取締役 森田 威 |
| (4) 資本金の額 | 3,000,000 円 |
| (5) 総資産の額 | 11,742 百万円（平成 20 年 3 月 31 日現在） |

2. 債務者に生じた事実

有限会社HUM プロパティーズは、本件貸付債権の返済を遅延しておりますが、民事再生手続や会社更生手続開始の申立て等を行った事実はありません。

3. 債務者に対する債権の種類及び金額

債権の種類	短期貸付金
金額	80 億円（平成 20 年 8 月 31 日現在）
純資産に対する割合	最近事業年度の末日（平成 20 年 3 月 31 日）の純資産（16,199 百万円）に対する割合 49.38%

4. 今後の見通し

本件貸付債権に関しましては、開発対象不動産の全てに当社が第1順位の担保権の設定を受けており、現時点における当該開発対象不動産の時価評価につきましても、本件貸付債権元本額である80億円以上の価値があることが確認されております。したがって、現時点においては、本件貸付債権の元本等の回収には懸念はなく、当期の業績に与える影響はございません。

また、利息は予定通り支払われており、元本返済に関しましては、プロジェクトの見直し及び物件の売却などによって早期に返済されるよう交渉中でございます。

なお、今後の金融情勢及び不動産市況等を勘案し、業績の見通しに変更等が生じる場合には、速やかに開示いたします。

以上